



記載例

※農業担い手課受付

※農林事務所受付

※農業委員会受付

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

下記のとおり農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

平成●●年●●月●●日

福島県知事

記

1 申請者の氏名、住所及び職業

氏名	印	職業	現住所
会津 太郎	印	農業兼会社員	会津若松市〇〇町大字〇〇字〇〇 △△番地



(様式第8-1号-2)

2 許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名

大字・字	地番	地目		面積(m ²)	利用状況	10a当たり 普通収穫高	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域・都市計画区域外の別
		登記簿	現況					
〇〇字〇〇	△△	畑	畑	300	普通畑	野菜 100kg	会津 太郎	市街化調整区域
		以	下	余 白				
計	1 筆			300 m ² (田	m ² 、畑		300 m ²)	



3 転用計画

(1) 転用事由の詳細	用途	事由の詳細	今後規模拡大を予定しており、農機具が大型化するため、現在の施設では格納できないため			
	農業用施設					
(2) 事業の操業期間 又は施設の利用期間	平成 年 月 日から 永 年間 (一時転用の場合:平成 年 月 日から 月間)					
(3) 転用の時期及び 転用の目的に係る事業 又は施設の概要	工事計画	工事期間	平成 年 月 日 ~ 平成〇〇年〇〇月 末日 (許可日)			
		名称	棟数	建築面積㎡	所要面積㎡	備考
	土地造成					開発区域内併用地面積を含む。
	建築物		1棟	150	150	〃
	小計					
	工作物					開発区域内併用地面積を含む。
	小計					
	計			150	150	



4 資金調達についての計画

収入		支出	
自己資金	10,000,000	用地費	
借入金	10,000,000	造成費	2,000,000
補助金		建築費	18,000,000
()		()	
()		()	
計	20,000,000	計	20,000,000

5 転用することによって生ずる付近の土地、作物、家畜等の被害防除施設の概要

土砂の流出等の災害を防止するための措置:

L型擁壁設置のため、特になし

農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置:

L型擁壁設置のため、特になし

周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照等)に支障を及ぼさないための措置:

周辺農地は自己農地であり、支障を及ぼすことはないとする

6 その他参考となるべき事項



(記載要領)

1 「申請者の氏名、住所及び職業等」

- (1) 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を自署する場合には、押印を省略することができます。
- (2) 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
- (3) 代理人が申請の手続きを代理して行う場合は、余白に「代理人」として、「行政書士の氏名、行政書士の印(本人が自署する場合は省略することができます)、職業(行政書士)、事務所の所在地」を記載してください。

2 「許可を受けようとする土地の所在、地番、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名」

- (1) 「利用状況」欄には、田にあつては二毛作、一毛作の別、畑にあつては、普通畑、果樹園、桑園、牧草地又はその他の別を記載してください。
- (2) 「市街化区域・市街化調整区域・非線引き区域・都市計画区域外の別」欄には、申請地が都市計画法による市街化区域(用途区域名を含む。)、市街化調整区域、非線引き内用途区域(用途区域名を含む。)、非線引き内用途区域外又は都市計画区域外のいずれかを記載してください。

3 「転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要」

災害(土砂の流出又は崩壊、ガス、粉じん又は鉱煙の発生、湧水、捨石等)を防止するための措置、農業用排水施設の有する機能に支障を及ぼさないための措置等周辺の農地に係る営農条件(集団農地の蚕食又は分断、日照、通風、農道、ため池等)に支障を及ぼさないための措置を記述してください。

4 「その他参考となるべき事項」

- (1) 以前、転用許可を受けたが工事未完了案件がある場合には、転用許可日、工事の進捗状況、未完了の理由及び完了させる見込みを記述してください。
- (2) 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。



① 事業の必要性：（申請に係る事業を実施することの必要性を具体的に記入してください）
 今般、後継者が就農することにより、現在の倉庫が手狭になり、農業用資材等の搬入・保管が困難なため、新たに倉庫を建築することになった。

② 土地の選定理由：（事業を実施する上で、申請地（農地）を選定せざるを得なかった理由を具体的に記入してください）
 宅地に隣接しており、利便性が図れるため。

③ 転用行為の妨げとなる権利（法第3条1項本文に掲げる権利）を有する者の有無及びその者の同意状況：
 有る・ない（○で囲む）
 氏名： _____
 権利の内容： _____
 同意状況： _____

④ 申請地に係る農地が土地改良区の地区内にある場合はその調整状況：

 特定土地改良事業等の内容：
 有る・ない（○で囲む）
 （特定土地改良事業等の内容）

事業の種類	事業施行者	施行面積	申請地に関係する面積	施行時期	土地改良財産
場整備事業 (<u>○</u> 地)	福島県	50	300	昭和60年～平成5年	

⑤ 土地の現況、土地利用計画及び計画面積の積算根拠：
 （土地の現況）
 地目ごとに記載すること

地目	面積(m ²)
田	300
畑	
宅地	
山林	
道路	
水路	
()	
()	
計	300

（土地利用計画）
 土地利用項目別に記載すること

土地利用項目	所要面積(m ²)	計画概要
農業用倉庫	200	縦10m×横20m
作業スペース	50	縦5m×横10m
通路	50	縦5m×横10m
計	300	

（土地利用項目積算根拠）

⑥ 行政庁の免許、許可、認可等の状況及び処分の見込み(各法令毎に許認可処分庁における申請書受理年月日等の状況及びその処分の見込みを記述すること。)

関係法令名	処分権限庁	処分権限庁收受日	処分の見込み
都市計画法	会津若松市	平成〇〇年〇〇月〇〇日	平成〇〇年〇〇月〇〇日許可済
道路法	〃	〃	〃

⑦ 法令(条例を含む。)により義務付けられている行政庁との協議状況(各法令等毎に処分庁における届出の受理状況等を記述すること。)

関係法令名	処分権限庁	届出の受理等年月日	備考

⑧ 農地以外の土地利用の見込み(所有者の同意状況等について記述すること。)
農地以外の土地が有る・ない(○で囲む)

同意状況

⑨ 取水又は排水計画及び水利権者、漁業権者その他の関係権利者の同意状況

取水計画	給水なし
排水計画	(雨水)
	地下浸透
	(汚水)
	なし

⑩ 申請に係る用途に遅滞なく供することの見込み(許可の日より概ね1年以内に許可の目的に供されない場合に記述すること。):

⑪ 一時転用の場合における農地への復元方法等:
